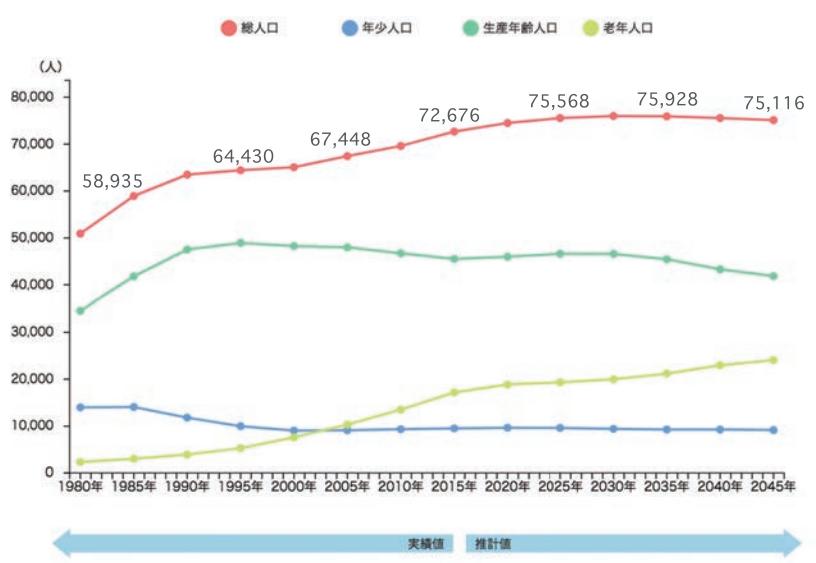


# RESAS を分析してみよう

埼玉県  
志木市

## 人口

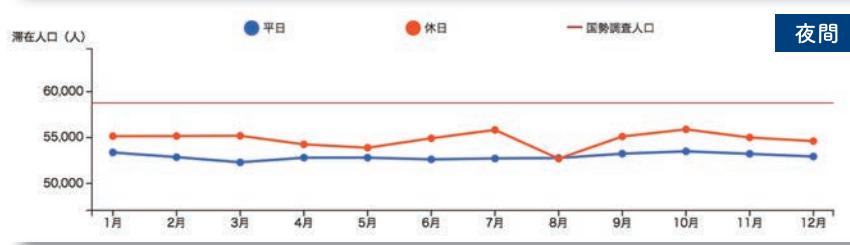
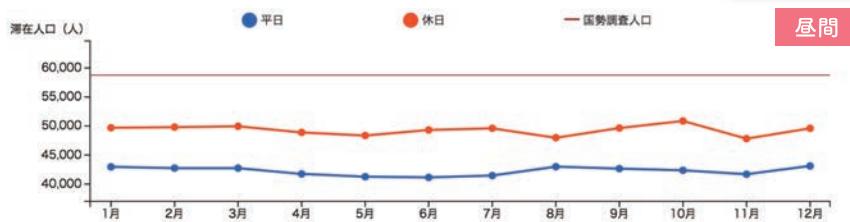
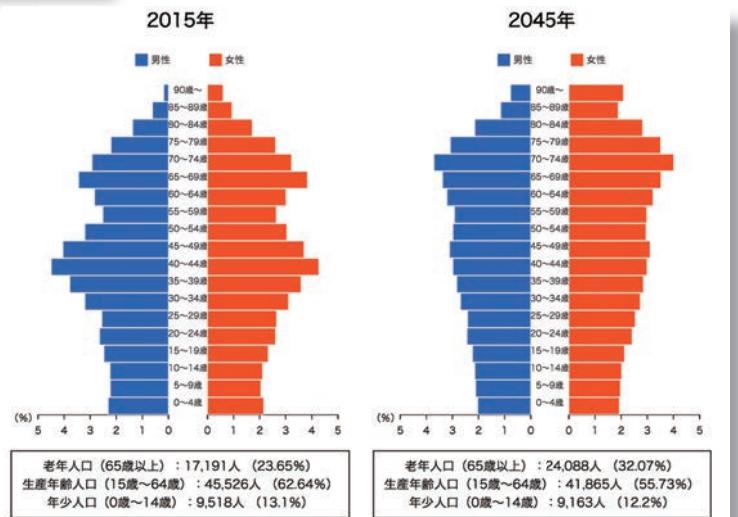


\* 人口マップ→人口構成→人口推移

## 人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。老年人口の割合をみると、2015年の23.7%から2045年には32.1%まで増加。一方、生産年齢人口は2015年の62.6%から2045年には55.7%まで減少する見込みとなっている。前項のとおり人口は増加傾向にあるため、市内の消費は増加が見込まれるが、その消費構造は変化すると考えられる。

\* 人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



\* まちづくりマップ→滞在人口率

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

<https://resas.go.jp>

RESAS



## 年齢別人口推移

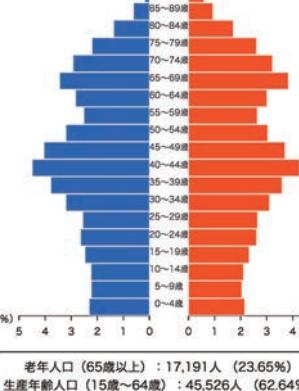
2015年の人口は72,676人。10年前（2005年）の67,448人と比較して7.8%増加している。将来人口の推移をみると、2030年までは人口は増加傾向にある。年齢別人口をみると、年少人口や年少人口は横ばいで推移するのに対し、老年人口は増加する見込みとなっている。

※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、  
老年人口は65歳以上をさす

2015年

男性

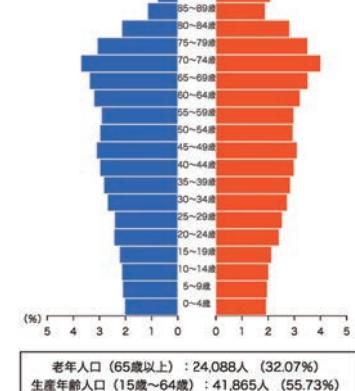
女性



2045年

男性

女性



## 滞在人口 (2019年、上:昼間、下:夜間)

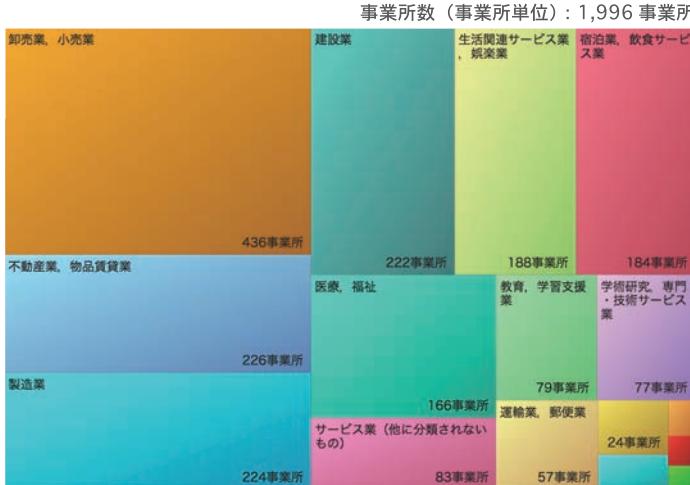
昼間人口と夜間人口を月ごとに比較したグラフである。昼間人口よりも夜間人口が多いことから、他の市区町村からの通勤・通学者数（流入人口）よりも、他の市区町村への通勤・通学者数（流出人口）が多いことが読み取れる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータを掲載している

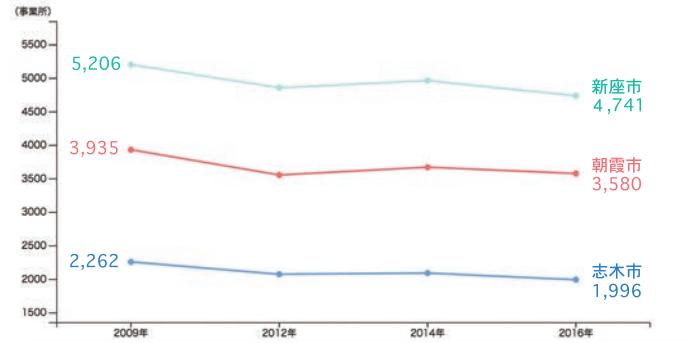
# 産業構造

対象地域：志木市

比較地域：新座市、朝霞市

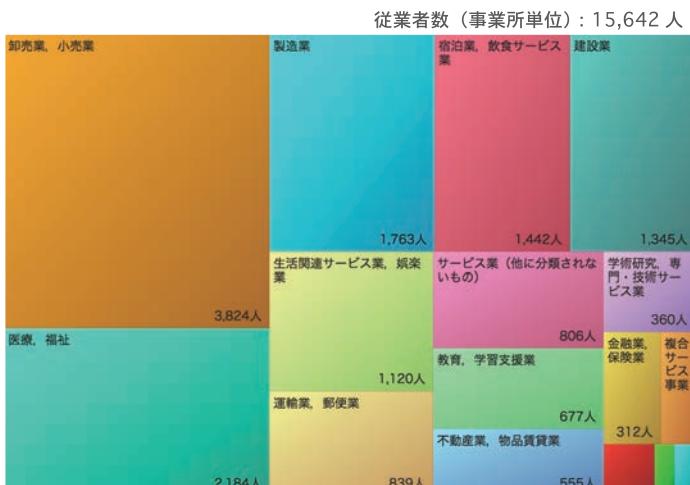


\* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造  
\* 右：産業構造マップ→全産業→事業所数



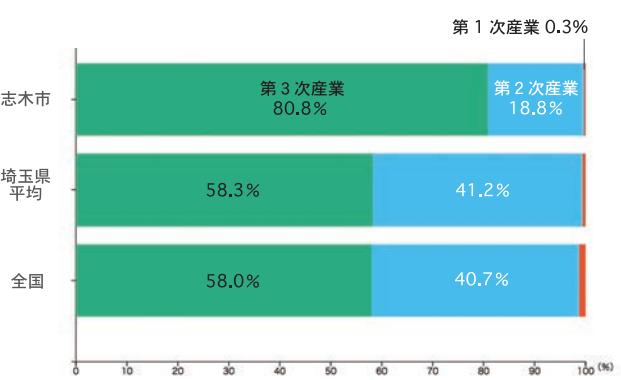
## 事業所数（事業所単位）大分類（2016年）

業種ごとの事業所数を面の大きさで示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」で436事業所。全体の21.8%を占めている。その後、「不動産業、物品賃貸業」の226事業所、「製造業」の224事業所が続く。



## 従業者数（2016年）

業種ごとの従業者数を面の大きさで示したグラフである。もっと多いのは「卸売業、小売業」で3,824人。全体の24.4%を占めている。その後、「医療、福祉」の2,184人、「製造業」の1,763人が続く。

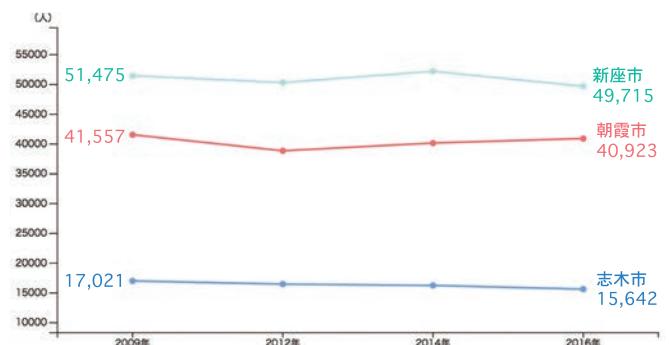


\* 地域経済循環マップ→生産分析

## 事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2016年の事業所数は1,996事業所。7年前の2009年と比較すると11.8%減である。他地域をみると、新座市は8.9%減、朝霞市は9.0%減であり、これらの地域と比べると減少幅が大きい。

\* 左：産業構造マップ→全産業→全産業の構造  
\* 右：産業構造マップ→全産業→従業者数（事業所単位）



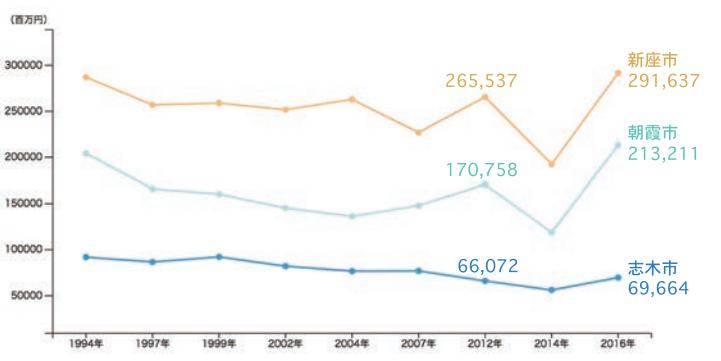
## 従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2016年の従業者数は15,642人。7年前の2009年と比較すると8.1%減である。他地域をみると、新座市は3.4%減、朝霞市は1.5%減となっており、これらの地域と比べると減少幅が大きい。

## 地域内産業の構成割合（2015年）

志木市の産業の構成割合を全国および埼玉県と比較したグラフである。もっとも割合が高いのは第3次産業で80.8%を占めている。一方、第2次産業は18.8%と、全国の40.7%、埼玉県の41.2%と比べて低くなっている。

# 小売業・卸売業



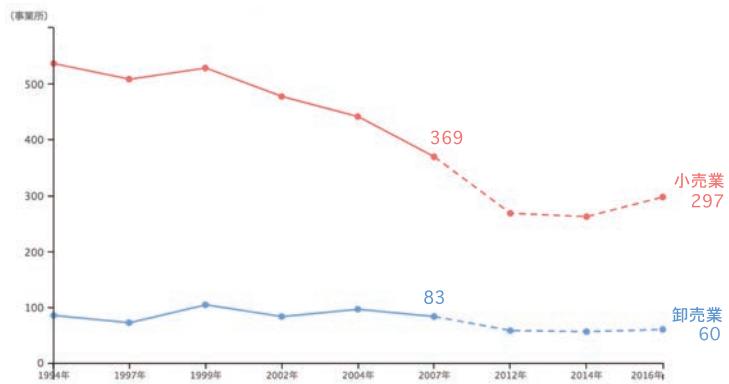
\* 産業構造マップ→小売・卸売業（消費）→年間商品販売額

## 年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。志木市の販売額は 697 億円。4 年前の 2012 年と比較すると 5.4% 増である。他地域をみると、新座市は 9.8% 増、朝霞市は 24.9% 増であり、これらの地域と比べると増加率は低くなっている。

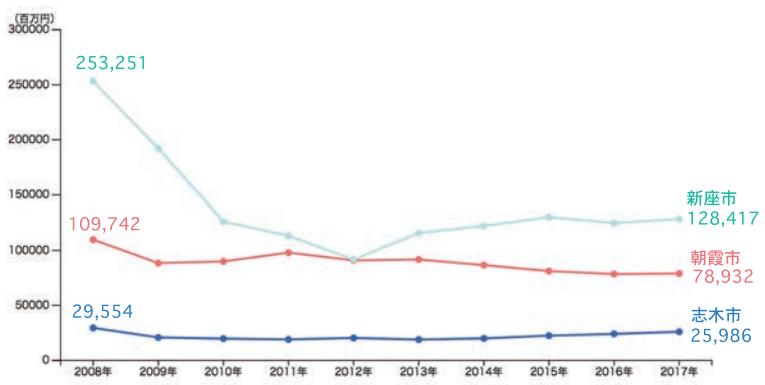
## 事業所数（小売業・卸売業）の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2016 年の事業所数は、小売業 297 事業所、卸売業 60 事業所。9 年前の 2007 年と比較すると小売業は 19.5% 減、卸売業は 27.7% 減となっている。



\* 産業構造マップ→小売・卸売業（消費）→商業の構造

# 製造業



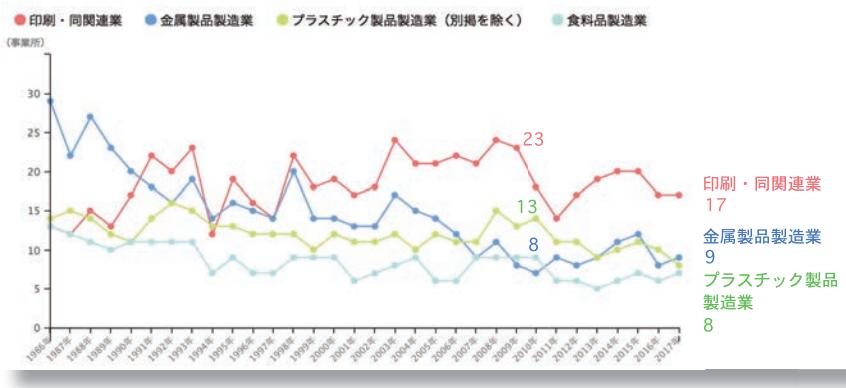
\* 産業構造マップ→製造業→製造品出荷額等

## 製造品出荷額等の推移

製造業の製造品出荷額等の推移を示したグラフである。志木市の出荷額等は 260 億円。9 年前の 2008 年と比較すると 12.1% 減である。他地域をみると、新座市は 49.3% 減、朝霞市は 28.1% 減となっている。

## 事業所数（主要製造業）の推移

主要製造業の事業所数を示したグラフである。志木市には、印刷・同関連業や金属製品製造業、プラスチック製品製造業が多い。8 年前の 2009 年と比べると、印刷・同関連業とプラスチック製品製造業の事業者数が減少している。

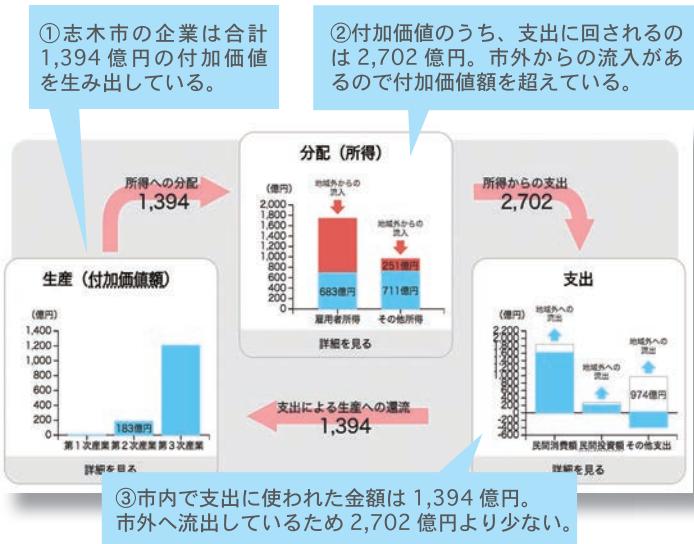


\* 産業構造マップ→製造業→製造業の構造

# 地域経済循環

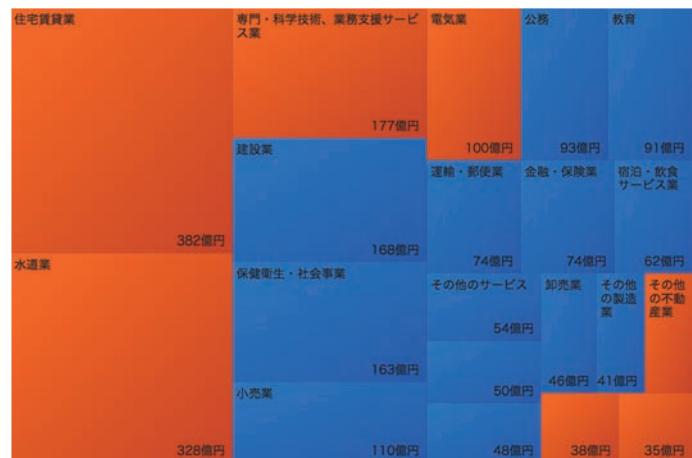
## 地域経済循環図（2015年）

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域循環図である。



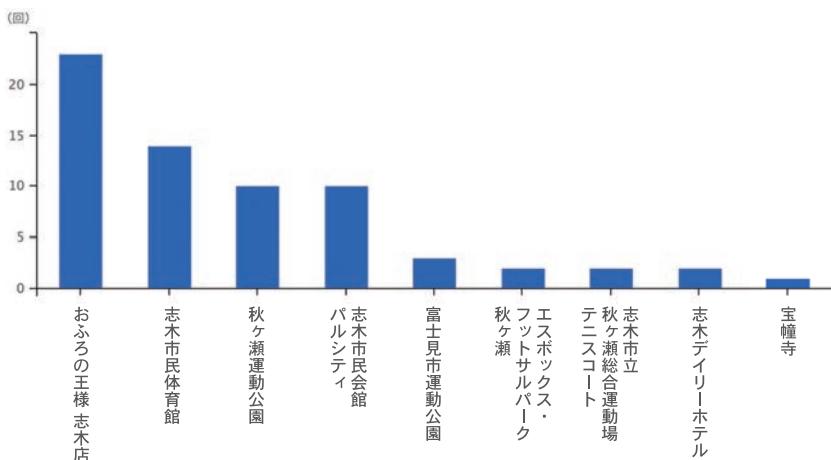
## 生産分析（2015年）

左図の「生産（付加価値額）」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値が高いのは「住宅賃貸業」「専門・科学技術、業務支援サービス」である。なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業（赤色）と地域外から必要としているものを調達している産業（青色）を表している。



\* 地域経済循環マップ→生産分析

## 観光



## 目的地検索ランキング (2019年3月・休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「おふろの王様 志木店」「志木市民体育館」「秋ヶ瀬運動公園」「志木市民会館パルシティ」の検索回数が多い。

\* 観光マップ→国内→目的地分析

発行：志木市商工会

〒353-0004 埼玉県志木市本町1-6-30

TEL : 048-471-0049 FAX : 048-471-0057

URL : <https://shikishishokokai.net/>

